

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	朝霞警察署庁舎 新築工事	階数	地上4F
建設地	埼玉県朝霞市栄町5丁目1659-3	構造	RC造
用途地域	一種中高住専、防火指定なし	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年2月10日
敷地面積	11,191 m ²	作成者	藪田 裕史
建築面積	1,999 m ²	確認日	2017年2月10日
延床面積	7,380 m ²	確認者	義永 満



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 ・外観の色彩については暖かみのある色調を使用し、周辺環境に調和させると共に親しみやすい施設となるよう配慮し、地域性及び公共性の向上に努めました。 ・省エネルギー、省資源により、環境に配慮した施設を目指す。		その他 外部各所に散水栓を設け、植栽の維持管理に配慮しました。
Q1 室内環境 ・有害物質の少ない建材を使用し十分な換気に努め、室内空気汚染の低減に配慮しました。 ・断熱性能を向上させ、快適な室内環境を確保する。	Q2 サービス性能 ・バリアフリー等の機能性を考慮し、建物全体としての耐久性及び更新性を高めるよう配慮しました。 ・耐震性能の向上に努めました。	Q3 室外環境(敷地内) ・積極的に緑化に努め、ヒートアイランド現象の防止及び周囲の景観に配慮しました。
LR1 エネルギー ・空調や換気、照明等の設備機器についてエネルギー効率を高めるよう配慮しました。	LR2 資源・マテリアル ・節水等に努め、水資源の保護に配慮しました。	LR3 敷地外環境 ・駐車場・駐輪場を設け、交通負荷の抑制に努めた、また雨水貯留槽を設け雨水の急激な流失を抑制し周辺環境に配慮しました。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される